

2018. 10. 10

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2018年 上半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2018 年上半期)

2018 年上半期（1～6 月）のわが国の景気は、民間企業の設備投資や、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しなどから、緩やかな回復基調を辿った。

このような中、化繊需要は、衣料用は、スポーツ、ユニフォーム等を中心に全般的に堅調に推移、家庭・インテリア、産業資材用途も、衛材を中心とした不織布関連、自動車部品を中心に需要が堅調に推移した。

国 内

1) 2018 年第 2 四半期の繊維産業の生産指数（2010 年=100）は、繊維工業全体では 91.6 と 2017 年第 4 四半期以降緩やかに下落している。化学繊維は 86.1、紡績は 68.3 でともに減少傾向であるが、織物は 101.4、染色整理は 100.0 とほぼ 2010 年平均の水準を維持している。

一方、2018 年第 2 四半期末の在庫指数は 108.5 と高水準が継続している。

繊維工業の段階別生産指数

(2010=100)

	繊維工業 全体	化学繊維	紡績	織物	染色整理	衣類
2017 年 第 2 四半期	92.1	88.7	72.7	101.8	97.8	70.7
第 3 四半期	92.1	87.3	70.4	102.4	98.5	70.0
第 4 四半期	92.3	87.5	70.7	102.4	99.9	68.4
2018 年 第 1 四半期	91.6	86.3	68.8	100.1	98.5	69.5
第 2 四半期	91.2	86.1	68.3	101.4	100.0	67.6

繊維工業の段階別在庫指数

(2010=100)

	繊維工業 全体	化学繊維	紡績	織物	染色整理	衣類
2018 年 第 1 四半期末	107.5	92.3	76.4	110.8	86.7	91.2
第 2 四半期末	108.5	91.9	72.4	110.1	87.7	95.0

(出所) 経済産業省

(注) 四半期平均、季節調整済み

2) 2018年上半期の繊維品輸出は、ドルベースで前年同期比6.3%増の40.2億ドル、円ベースでは同2.8%増の4,363億円となった。

形態別は、繊維原料は前年同期比0.3%増の514億円、糸類は同2.6%増の621億円、織物類は同0.5%減の1,310億円、二次製品他は同6.0%増の1,918億円となった。二次製品では、不織布、コーティング織物等の輸出が堅調であった。

仕向地別では、全体の29.3%を占めた中国が前年同期比2.1%増の1,280億円となった。中国シェアは2017年年間(30.7%)から1.4ポイント下落している。アセアンは全体で同6.4%増の1,112億円となった。アセアンのシェアは25.5%となった。ベトナム(8.4%増)、インドネシア(10.2%増)が好調であった。韓国は同3.3%減の226億円、台湾は同3.5%減の115億円、香港は同4.3%減の207億円となった。それ以外では、欧州が同7.4%増の513億円、米州が同7.9%増の453億円、うち米国が同7.9%増の385億円となった。

3) 2018年上半期の繊維品輸入は、ドルベースで前年同期比7.0%増の181.4億ドル、一方円ベースでは同3.4%増の1兆9,702億円となった。

形態別は、繊維原料は前年同期比8.4%増の391億円、糸類は同2.5%増の677億円、織物類は同3.3%増の762億円、全体の9割以上を占める二次製品は同3.3%増の1兆7,872億円、うち衣類は同3.5%増の1兆4,742億円となった。

仕出地別では、全体の56.8%を占めた中国が前年同期比1.4%減の1兆295億円となった。中国シェアは2017年年間(60.2%)から3.4ポイント下落している。アセアンは全体で同12.2%増の5,138億円と続伸した。アセアンのシェアは26.1%となった。ベトナム(16.4%増の2,347億円)が好調であった。それ以外では、欧州が同8.8%増の1,266億円、米州が同0.6%減の357億円となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2016.1-6	2017.1-6	2018.1-6	2017年比(%)	2016年比(%)
輸出	千ドル	3,911,371	3,782,619	4,019,552	6.3	2.8
計	百万円	435,956	424,374	436,275	2.8	0.1
繊維原料	百万円	65,909	51,281	51,443	0.3	-21.9
糸類	百万円	59,578	60,519	62,064	2.6	4.2
織物類	百万円	137,068	131,705	130,987	-0.5	-4.4
二次製品他	百万円	173,401	180,870	191,781	6.0	10.6
輸入	千ドル	16,995,646	16,954,472	18,136,625	7.0	6.7
計	百万円	1,904,109	1,906,029	1,970,187	3.4	3.5
繊維原料	百万円	34,450	36,115	39,135	8.4	13.6
糸類	百万円	68,701	66,079	67,698	2.5	-1.5
織物類	百万円	74,712	73,724	76,153	3.3	1.9
二次製品他	百万円	1,726,245	1,730,110	1,787,200	3.3	3.5
(うち衣類)	百万円	(1,431,070)	(1,423,917)	(1,474,165)	3.5	3.0
輸出レート	円/ドル	111.5	112.2	108.5	-3.3	-2.6
輸入レート	円/ドル	112.0	112.4	108.6	-3.4	-3.0

(出所) 財務省

5) 2018年上半期の化繊生産は前年同期比2.3%減の44.7万トと続落した。うちセルロース繊維は同1.0%減の9.3万、合繊は同2.6%減の35.4万トであった。合繊生産を品種別にみると、ナイロンFは同5.8%減の4.6万ト、ポリエステルFは同4.9%減の5.9万ト、同Sは同13.6%減の4.3万ト、アクリルSは同3.0%減の6.1万トとなった。

6月末在庫は前年同期比0.6%増の8.8万トとなった。うちセルロース繊維は同14.5%増の2.2万ト、合繊は同3.3%減の6.6万トとなった。

化繊輸出（繊維原料～二次製品）は前年同期比1.0%減の26.8万トとなった。形態別は、繊維原料は同4.0%減の9.9万ト、糸類は同0.4%増の6.1万ト、織物類（面積ベース）は同3.7%増の3.12億㎡、二次製品は同7.1%増の5.9万トであった。

品種別は、レーヨンSは前年同期比33.0%増、ナイロンFは同7.6%減、ポリエステルFは同4.5%減、ポリエステルSは同12.0%減、アクリルSは同1.6%減となった。化繊不織布は同12.1%増の2.4万トとなった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は前年同期比2.3%増の73.8万ト。

形態別は、繊維原料は同12.2%増の5.2万ト、糸類は同2.7%増の11.4万ト、織物類（面積ベース）は同4.4%増の3.20億㎡、二次製品は同1.5%増の50.7万ト、そのうち衣類は同2.0%減の21.0万トとなった。

品種別は、レーヨンSは同16.8%増、ナイロンFは同3.6%増、ポリエステルFは同2.6%増、同Sは同12.0%増となった。化繊不織布は同8.6%増の11.7万トとなった。

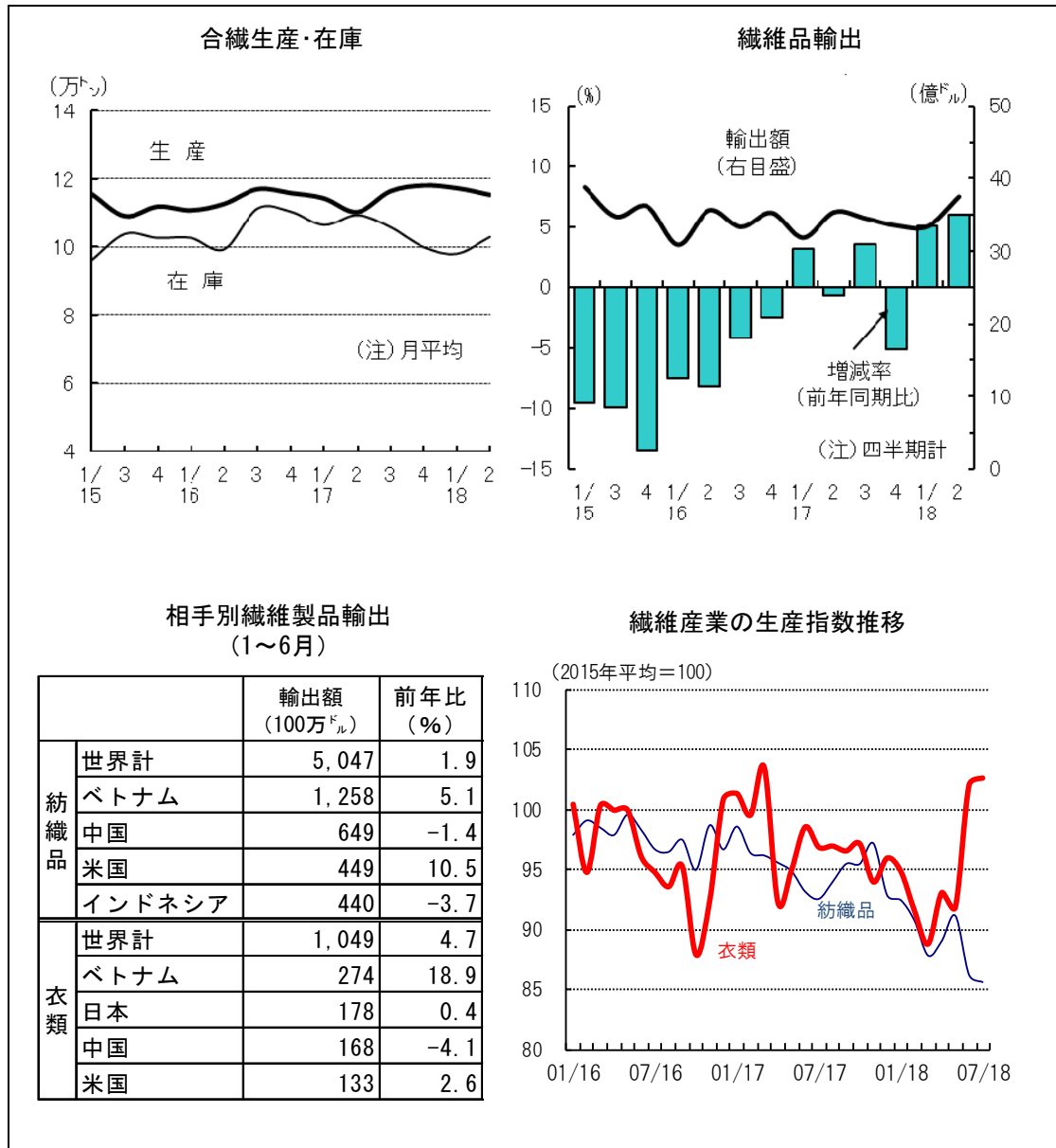
化学繊維の主要指標

項 目	単 位	2016. 1-6	2017. 1-6	2018. 1-6	2017年比 (%)	2016年比 (%)
化繊生産	千トン	465,714	457,262	446,919	-2.3	-4.0
セルロース	〃	82,303	93,602	92,640	-1.0	12.6
合 繊	〃	383,411	363,660	354,279	-2.6	-7.6
期末化繊在庫	〃	92,981	87,592	88,131	0.6	-5.2
セルロース	〃	15,160	19,220	22,006	14.5	45.2
合 繊	〃	77,821	68,372	66,125	-3.3	-15.0
化繊輸出	千トン	285,962	270,298	267,597	-1.0	-6.4
	100万ドル	2,447,667	2,340,118	2,491,156	6.5	1.8
	百万円	272,913	262,562	270,359	3.0	-0.9
繊維原料	千トン	126,460	103,470	99,339	-4.0	-21.4
糸 類	〃	58,954	61,240	61,467	0.4	4.3
織物類	百万㎡	307,883	301,137	312,223	3.7	1.4
二次製品	千トン	50,854	54,994	58,917	7.1	15.9
化繊輸入	千トン	704,008	720,734	737,605	2.3	4.8
	100万ドル	7,426,698	7,378,331	7,564,450	2.5	1.9
	百万円	831,988	829,997	821,915	-1.0	-1.2
繊維原料	千トン	41,214	46,455	52,119	12.2	26.5
糸 類	〃	110,679	111,017	114,008	2.7	3.0
織物類	百万㎡	303,878	306,652	320,148	4.4	5.4
二次製品他	千トン	489,319	499,222	506,885	1.5	3.6
(うち衣 類)	〃	217,695	214,321	210,003	-2.0	-3.5

(出所) 経済産業省、財務省

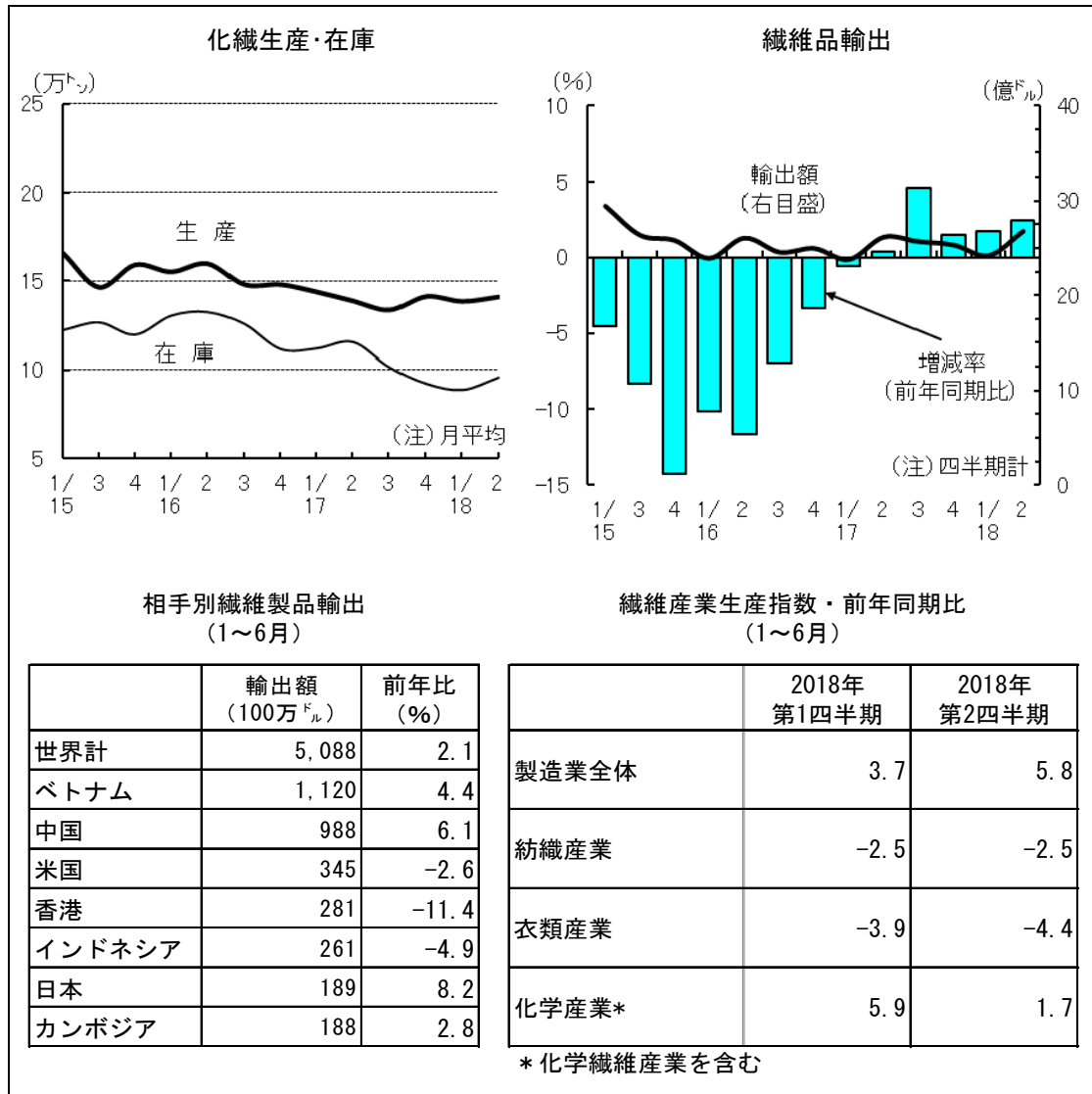
(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

7) 韓国



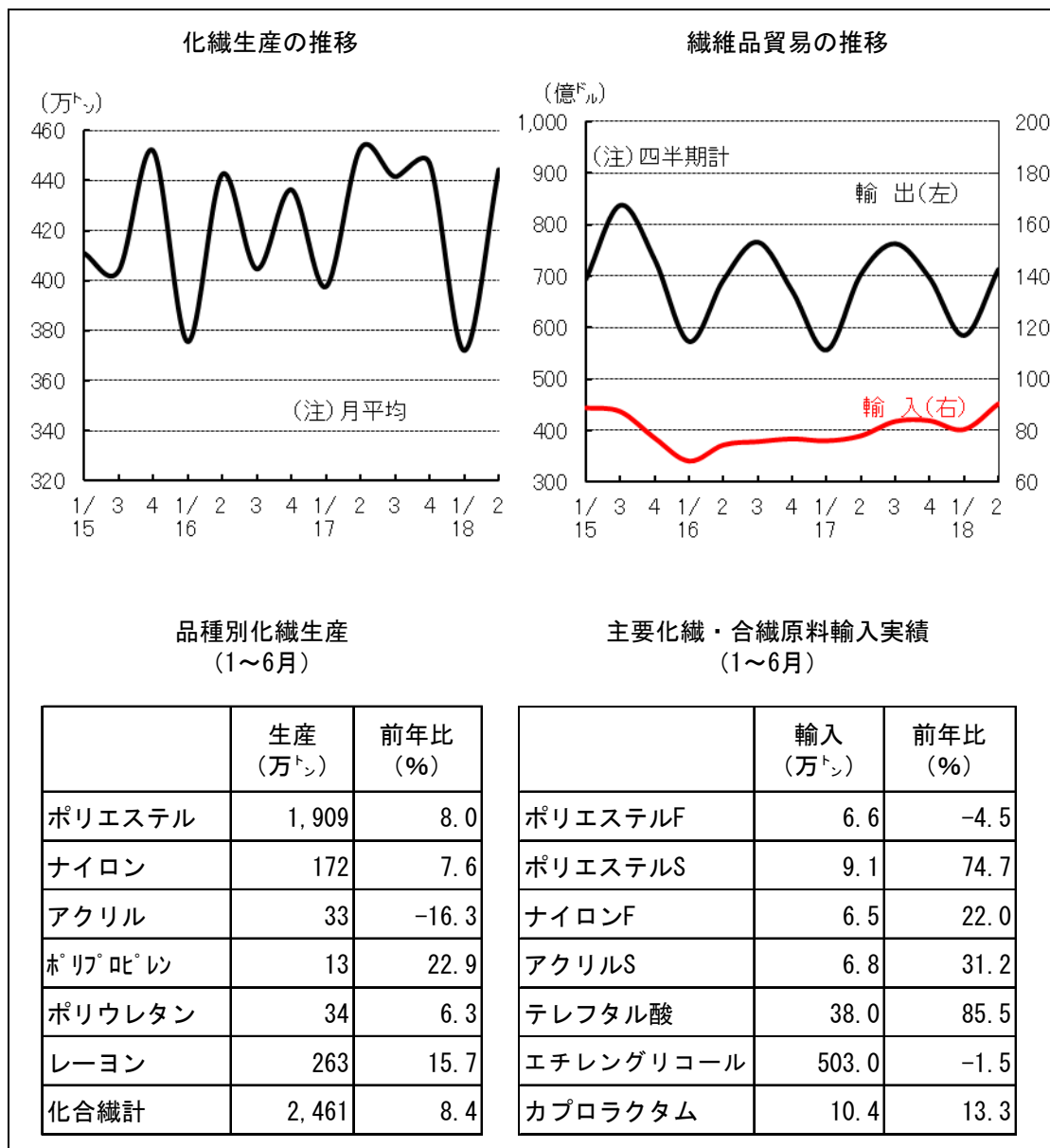
- ◆ 2018 年上半期の化繊生産は増産、繊維品輸出は回復している。
- ◆ 2018 年上半期（1-6 月）の合繊生産は前年同期比 3.5% 増の 69.8 万トとなった。四半期ベースでは、第 2 四半期まで 3 期連続の増産となった。主要合繊では、ナイロン F は同 8.8% 減、アクリル S は同 7.3% 減と減少したが、ポリエステル F は同 0.3% 増、ポリエステル S は同 10.0% 増となった。
- ◆ 2018 年上半期の繊維品輸出は前年同期比 5.4% 増の 70.9 億ドルとなった。第 1、2 四半期とも前年実績を上回った。1~6 月の繊維製品輸出を相手別にみると、紡織品は最大のベトナム向けが同 5.1% 増と好調を持続したが、中国向けは減少。衣類は、最大のベトナム向けが 18.9% 増と大幅に増加した。

8) 台湾



- ◆2018年上半期の化繊生産は減産したものの、繊維品輸出は回復した。
- ◆2018年上半期の化繊生産は前年同期比1.1%減の83.7万^{トン}となった。四半期ベースでは第2四半期に7期ぶりに前年実績を上回った。上半期の主要合繊の生産は、ナイロンFは同2.0%増の13.0万^{トン}、ポリエステルFは同3.6%増の41.1万^{トン}、ポリエステルSは同3.7%減の26.1万^{トン}となった。
- ◆2018年上半期の繊維品輸出は前年同期比2.1%増の50.9億^{ドル}となった。繊維品輸出を相手別にみると、ベトナム向けは同4.4%増、中国向けは同6.1%増とともに好調となったが、米国向け、香港向け、インドネシア向けは減少した。
- ◆2018年上半期の主要繊維産業の生産指数は、紡織産業、衣類産業ともマイナス成長が続いている。

9) 中国



- ◆2018年上半期の化繊生産は増産が続き、繊維品輸出は回復に転じた。
- ◆2018年上半期の化繊生産は前年同期比8.4%増の2,461万トとなった。品種別には、ポリエステルは同8.0%増の1,909万ト、ナイロンは同7.6%増の172万ト、アクリルは同16.3%減の33万ト、ポリウレタンは同6.3%増の34万ト、レーヨンは同15.7%増の263万トとなった。紡績糸生産、織物生産は1.4%増、2.0%増となった。
- ◆2018年上半期の繊維品輸出は、前年同期比3.0%増の1,297億ドルとなった。一方、繊維品輸入は同10.9%増の171億ドルとなった。
- ◆2018年上半期の合繊輸入は、ポリエステルS、ナイロンF、アクリルSがいずれも大幅増となった。合繊原料輸入は、エチレングリコールは減したが、テレフタル酸、カプロラクタムは増加した。

相手別繊維製品輸出
(1~3月)

	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)
世界計	576	5.0
アジア計	258	4.1
日本	47	-0.4
香港	27	0.9
アセアン	81	15.3
ベトナム	33	34.0
アフリカ	39	1.9
EU	98	2.4
米国	96	5.7

繊維業界の主要指標
(1~6月)

	単位	指標	前年比 (%)
企業数	万社	3.52	-
赤字企業数	万社	0.65	10.2
主要業務収入	億元	28,277	3.8
うち化繊産業	億元	3,331	16.3
利潤総額	億元	1,309	2.0
うち化繊産業	億元	178	19.3
紡織産業実際投資	前年比	-	0.8
衣類産業実際投資	前年比	-	-5.7
化繊産業実際投資	前年比	-	28.2

社会小売財消費総額
(1~8月)

	単位	数値	前年比 (%)
商品売上総額	億元	242,294	9.3
うち繊維品等	億元	8,521	8.9

繊維関連物消費者物価指数
(1~8月)

	前年同期比 (%)
消費者価格指数・全製品	2.0
消費者価格指数・衣類等	1.2

- ◆繊維産業の主要指標は、主要業務収入は前年同期比 3.8%増、利潤総額は同 2.0%増とその伸びは鈍化したものの引続き堅調であった。化繊産業は、需給バランスの改善により、主要業務収入、利潤総額はそれぞれ同 16.3%増、同 19.3%増と好調に推移した。繊維産業の投資は、紡織産業は微増、衣類産業はマイナスとなったが、化繊産業は 28.2%の大幅増となった。
- ◆社会小売材の消費総額（繊維品）は前年同期比 8.9%増と引続き堅調に推移した。衣類等の消費者物価指数は前年同期比 1.2%上昇した。

10) 米 国

・輸 入

2018年の1～7月の繊維製品輸入は前年同期比4.7%増の621.8億ドルとなった。仕出地別にみると、最大仕出国の中国が3.7%増の214.6億ドルと増加したのをはじめ、ベトナムが7.5%増の73.9億ドル、インドが1.9%増の46.1億ドルと主要仕出国はいずれも増加した。

上記の繊維品全体に対し、衣料輸入は2.7%増の461.8億ドルであった。仕出地別では最大仕出国で全体の約3割を占める中国が0.8%減の142.0億ドルと減少したが、その他はベトナムが6.4%増の69.4億ドル、バングラデシュが5.6%増の32.1億ドルと増加した。

繊維製品輸入実績（1～7月）

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2017年	2018年	前年比(%)	仕出地	2017年	2018年	前年比(%)
中国	20,691	21,455	3.7	中国	14,316	14,198	-0.8
ベトナム	6,870	7,386	7.5	ベトナム	6,523	6,941	6.4
インド	4,520	4,605	1.9	バングラデシュ	3,041	3,212	5.6
バングラデシュ	3,186	3,359	5.4	インドネシア	2,713	2,613	-3.7
メキシコ	2,694	2,730	1.3	インド	2,328	2,419	3.9
世界	59,410	62,188	4.7	世界	44,960	46,183	2.7

(出所) 米商務省

・企業動向

- ・ Dow DuPont は高強度アラミド繊維 Kevlar の設備増強をはかり、約5億ドルの投資を実施することを明らかにした。
- ・ ドイツの特殊不織布・複合材メーカー Norafin Industries GmbH は、米ノースカロライナ州 Mills River に同社にとって米国で初となる工場を新設。
- ・ 米投資会社 Crown Capital Investment は米国のファブリックメーカー Graniteville Specialty Fabrics (以下、GSF、サウスカロライナ州) を買収。同社は軍事用シェルターやテントなどで使用されるコーティングファブリックを製造している。
- ・ 大手加工糸メーカー Unifi Inc. (ノースカロライナ州) は 米紡績メーカー National Spinning Co. Inc の染糸事業の買収に合意。Unifi は買収した事業を現在のノースカロライナ州 Burlington から同州 Reidsville に移管する予定。
- ・ INVISTA は米サウスカロライナ州 Camden に約3,000万ドルを投資し、原着ナイロン66長繊維、同カーペット用長繊維設備の増設を発表。2018年7月に開所式を行う。同社はこのほか、米テキサス州 Victoria の工場に約2.5億ドルを投資し、ナイロン66の増設とアジピン酸の技術改良を進める方針を明らかにした。2019年1Qの着工を目指すとしている。
- ・ Kimberly-Clark Corporation はノースカロライナ州の不織布工場を増設する。

投資額は3,000万^{ドル}。

- ・ 米国商務部は5月、中国、インド、韓国、台湾産の細デニールポリエステル短繊維の輸入に対し、反ダンピング（AD）税を付加することを決定。本措置の対象となるポリエステル短繊維は3.3デシテックス（3デニール）以下の短繊維で、主に衣料用テキスタイル、衛材など家庭用不織布などに用いられるもの。

11) 欧州

・合繊生産

2018年1～6月期の合繊生産は産資用ナイロンFが6.6%増の6.4万^{トン}、紡織用ポリエステルFが18.1%増の14.2万^{トン}、産資用ポリエステルFが4.0%減の7.1万^{トン}、ポリエステルSが5.8%増の36.9万^{トン}となった。

主要合繊の生産高（1～6月）

	(1000 ^{トン} 、%)				
	2015	2016	2017	2018	前年比
産資用ナイロンF	56.1	55.7	59.7	63.6	6.6
紡織用ポリエステルF	103.9	101.6	120.8	142.7	18.1
産資用ポリエステルF*	72.3	72.8	73.9	70.9	-4.0
ポリエステルS*	328.7	346.1	348.4	368.7	5.8

(出所) CIRFS

(注) その他の品種は未発表。*ベラルーンを含む。

・企業動向

- ・ Dow DuPont傘下のDuPont Safety & Constructionはルクセンブルクのポリエチレン長繊維不織布Tyvekの増設計画を発表、2021年の稼働開始を目指す。
- ・ イタリア不織布メーカーManifattura Fontana S. p. A.がジオテキスタイル向けにニードルパンチ不織布を増設する。同社は2016年にベルギーの産業用繊維メーカーSioen Industries NVの傘下に入っている。
- ・ オーストリアの大手タイヤコード原糸メーカーGlanzstoff Industriesは同社がチェコ共和国内に構えるGlanzstoff Bohemia s. r. o.工場における強力レーヨンの生産を拡大した。超高性能タイヤ向け強力レーヨン長繊維の需要拡大に対応する今回の増強で、同工場の生産能力は年産1.3万^{トン}に拡大した。同社はタイのIndorama Venture Limited傘下。
- ・ オランダの大手化学メーカーDSMは超高分子量ポリエチレン繊維Dyneemaの増設する。オランダHeerlen、米国Greenville(ノースカロライナ州)の工場に新技術を導入するなどして生産を拡大、2018年の増設完了と2019年1Qのフル稼働を図る。
- ・ 欧州議会は2年ごとに更新されるパキスタンに対する一般特惠関税制度(GSP)の優遇措置の延長を承認。パキスタンはEUの繊維製品輸入における第5位の供給国。

合織4品種需要実績(2018年1～6月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2018年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	46,818	99.9	102.3
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	77,589	102.4	101.4
	計 (輸入)	124,407 (69,736)	101.4 (101.6)	101.7 (102.6)
輸出 (原糸、加工糸)		3,014	95.3	89.5
需要計		127,421	101.3	101.4
在庫		9,666	95.5	90.6

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2018年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	10,256	101.6	102.5
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	67,263	99.3	97.6
	計 (輸入)	77,521 (36,862)	99.6 (107.9)	98.3 (112.0)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		2,778	83.0	73.4
需要計		80,298	98.9	97.1
在庫		12,946	112.9	98.8

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2018年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	11,518	104.1	101.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	33,466	102.1	97.0
	計 (輸入)	44,984 (14,607)	102.6 (111.4)	98.0 (103.6)
輸出 (原糸、加工糸)		15,773	91.2	88.3
需要計		60,757	99.4	95.3
在庫		10,318	93.3	89.6

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2018年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	15,760	162.1	139.5
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	3,990	138.1	124.1
	計 (輸入)	19,750 (340)	156.6 (138.8)	136.1 (133.9)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		42,974	90.5	87.4
需要計		62,724	104.3	98.5
在庫		7,852	91.3	71.8

(注)国内需要の()内数値は輸入量